

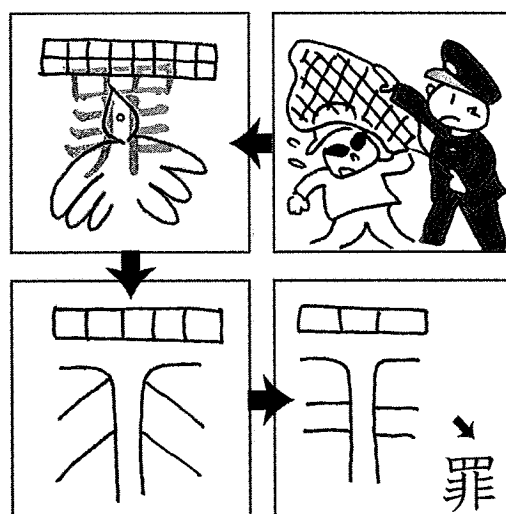
五年

圖 13
會 意
訓 きおイ



五年

圖 13
會 意
訓 つみ



「人が土いじり(園芸)をしている」という意味の「勢」と、「力」とを組み合わせた字です。「人が土いじりに力を入れる」という意味を表しますが、そうすれば、「草木が「勢い」よくなる」ところから、「勢いづく」や「勢い」という意味に使われます。また、「勢いの様子」の意味から、「様子」「成り行き」の意味に、さらに、「勢いは「人数」によって強くも弱くもなる」ところから「人数」の意味にも使われます。

熟語例
優勢Ⅱ勢いが勝っていること
大勢Ⅱ多くの人数

同時に覚えるどよい字
「熱」は「勢いがよい」という意味の「勢」に、「火の燃える」形を表した「灬」を加えた字です。「火が勢いよく燃える」ことを表し、「火のように勢いがある」ことを意味します。熟語例Ⅱ熱湯、熱中

「非」と、鳥や魚を取る網の形を表した「罒」(あみがしら)とを組み合わせた字です。「非行の人をとらえて罰する」ことを意味します。なお、「非」は鳥のつばさの形を表した字で、つばさは左右反対に開くことから、「反対」「……でない」「良くない」という意味に使います。

熟語例
罪人Ⅱ罪を犯した人
犯罪Ⅱ法律にそむく行い

同時に覚えるどよい字
「悲」は、「非」と、「心臓」の形を表した「心」とを組み合わせた字です。「物事が「心」に望むところと反対になり」、がっかりする」ことを表し、「悲しむ」「悲しい」ことを意味します。熟語例Ⅱ悲話、悲劇